

庭に日本にもともと生えていた木を植えると鳥や虫などの生き物が集まって来ます。

どの木にどんな生き物が集まってくるか探してみましょう。

実の成る木



鳥たちの餌となる虫などが少ない秋から冬にかけて、木の実が鳥たちの貴重な餌となります。
(写真：ヒサカキ)

鳥や虫の集まる木

アケビ、イロハモミジ、サンショウ、ナナカマド、ヒサカキ、ムラサキシキブ、ヤマザクラ など

集まる主な鳥

オナガ
カワラヒワ
シジュウカラ
ハクセキレイ
ヒヨドリ
メジロ など

集まる主な虫

キアゲハ
ナミアゲハ
ベニシジミ
アブラゼミ
カマキリの仲間
クモの仲間 など



日本に由来から自生する樹木には、その木の花や葉、実を餌とする鳥や虫など、たくさんの生き物が集まって来ます。樹種によって、集まる鳥や虫は大体決まっていますので、どんな生き物が集まってくるか探してみましょう。

(写真：左 シジュウカラ、右 ナミアゲハ)

豆知識

木の実と鳥の関係

木の実が鳥の大好物ですが、植物はただ実を食べられているわけではありません。木の実が食べられることにより、他の場所に運ばれ、消化しきれなかった種が糞とともに排出され、その場所で芽を出します。植物は鳥や虫、風などの力をたくみに利用し、生息範囲を広げる工夫をしているのです。

コラム

自然とつながる庭

緑の少ない住宅地において、庭木として、その地域の自生種・在来種を植えることは、豊かな景観をつくるだけでなく、鳥や虫などの生物の生息空間を形成し、その地域の生態系の一部を支えることとなります。都市に緑を増やすことは、私たち人間だけでなく、動物や地球にもやさしく、生物多様性の保全に寄与することになるのです。

